

学校の特色ある授業や取り組み

☎ 教育政策課 ☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

教育委員会では、児童・生徒がいじめのない学校を目指す態度を育てることを目的として「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を中学校区ごとに実施しています。コロナ禍において、工夫しながら実施した2つの中学校区の取り組みを紹介します。



令和2年度いじめ防止啓発ポスター

緑ヶ丘小学校〈第十一中学校区〉

令和2年度は、テーマを「SNSいじめを起こさないために」としました。会議の日までに各学級でいじめを起こさないために何ができるのかを考え、意見を学校代表に届け、学校代表は届いた意見をまとめあげて会議に参加しました。

コロナ感染拡大防止のため、第十一中学校区の第十一中2年生・中根小5年生・緑ヶ丘小5年生が一同に集まることはできないので、各校の各学級から代表2名ずつのみが会議に出席し、代表以外は自校でリモート参加をすることにしました。

当日は、第十一中の生徒が司会を務め進行了しました。会場の教室にプロジェクターとスクリーン、スピーカーを整え、オンラインで各校を結びました。オンライン配信により会場とリモート参加者が、双方向で意見交換することができました。オンラインを利用したことで全校児童・生徒が関わる子ども会議が、実現しました。

全校児童・生徒でいじめ問題に取り組めたことで、「いじめを許さない」「いじめをなくす」等の意識を徹底させることができました。

また、第十一中学校区の地域全体でいじめ問題を考える意識が高まり、一層魅力的な地域になったと思います。



第十一中の会場で



リモート参加する児童

第九中学校

第九中学校区では、いじめの根絶を図るため毎年度「いじめをなくすために私たちにできること、すべきこと」というテーマで話し合いを積み重ねています。児童・生徒一人ひとりが、できることを考え、いじめをなくすために行動する人に育ってほしいからです。

今年は、コロナ感染拡大防止のため例年のように全体で集まることはできませんでしたが、「いじめを考えるめぐろ子ども会議」をどのように運営していくか生徒会を中心に考えました。

その結果、小・中学生の代表による話し合いの機会を設け、会場に集まらない児童・生徒にオンライン配信をすることにしました。

事前に全ての学級でいじめ根絶に向けて自分のできることについて話し合いました。考える際には、「ピラミッドランキング」(いじめ根絶に重要な言葉を6つ選びピラミッド型に並べる。)を用いて、そのワークシートに基づいて話し合いを進めました。

会議当日は、各学校・学級の考えを持ち寄り話し合いを行いました。当日参観していただいた教育委員会の教育指導課の先生から『第九中学校生は、司会として話し合いを円滑に進めるだけでなく、小学生が話しやすいようにリードしていました。』とお褒めの言葉をいただきました。第九中学校の生徒の大きな成長の場となりました。



第九中の会場で

悩みや困っていることがあったら相談しよう

(その他の相談窓口)

発達に関するものを含めて児童・生徒に少しでも気になる様子が見られる場合、いじめや偏見等に悩んだ場合は、学校のほか、めぐろ学校サポートセンター(中目黒3-6-10)においても、教育相談(来室・電話)を実施しています。その他の相談窓口を区ホームページ(右コード)でお知らせしていますので、ご覧ください。



(教育相談関連) 〈めぐろ学校サポートセンターの教育相談〉



【来室】月～土曜日 午前10時～午後5時 ☎03-3712-4601(※要予約)
【電話】月～金曜日 午前10時～午後5時 ☎03-3710-6770
※詳細は、区ホームページ(左コード)をご覧ください。



令和元年度～5年度 文部科学省研究開発学校 研究発表会

※新型コロナウイルス感染症対策を講じ、オンライン配信を活用して実施しました

☎ 教育指導課 ☎03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

目黒区では、平成14年度から各校の実情に応じて「40分授業午前5時間制」を順次実施しています。1単位の授業時間を40分間とし、午前中に集中して5単位時間分の学習を行うことで学力の定着を図っています。

区立小学校15校は、文部科学省より「研究開発学校」(※)として指定(令和元年度～令和5年度)を受け「40分授業午前5時間制」で生み出した時間を生かした創意工夫ある教育課程の開発を進めています。

令和2年度は、中間発表として田道小学校と烏森小学校において研究発表会を開催しました。

※研究開発学校：学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施が認められ、その実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発していこうとするもの。

田道小学校 令和2年12月11日

【研究主題】外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせた学びの実現
～「40分授業午前5時間制」におけるカリキュラム・マネジメントを生かして～

外国語教育の充実

・「40分授業午前5時間制」で生み出した時間を、週1回20分間の短時間学習(English Time)や他教科等との関連等に活用しています。

〈研究の成果〉

①伝える力の向上

T1(学級担任)とT2(ALT)による対話(ミニトーク/スモールトーク)等の工夫をすることで、児童は対話を続けられるようになりました。

②主体的な学びの実現

必然性のある学習活動を設定し、目的意識をもたせる等の工夫をすることで、児童の主体的な学びの実現につながりました。

③指導方法の改善

中心となる活動で評価をし、その内容を分析し、次の授業の指導方法を考えていきます。



学級担任とALTによるトーク



サテライト会場で当日の授業を公開

烏森小学校 令和3年1月22日

【研究主題】1コマ40分の授業づくり 午前5時間制の教育課程
～単元編成と授業展開の研究開発、新しいカリキュラムの多様性～

各教科等の指導方法の工夫

・創意工夫ある教育課程を支える「各教科等の指導方法」に重点をおき、「40分授業午前5時間制」における単元編成や授業展開について研究を進めました。

〈研究の成果〉

①単元プランの編成

単元の学習内容の精選・重点化を図ったことで学習目標が明確になり、児童の学びを深めることができました。

②主体的・対話的で深い学びの授業デザインの提案

学習のねらいに応じた個人と協働の学習を効果的に取り入れたことで、児童は自分の考えをもって主体的に学習に取り組むことができました。

③考える力を育成する授業の工夫

授業を分析し、よりよい授業づくりを目指しました。また、授業の終末に児童が記した振り返りカードに書かれた内容等を分析し、次の授業の展開を工夫するようにしたことで考える力が育ってきています。



思考ツールを活用した授業



当日の授業者による発表はオンラインで